

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人間学部	子ども教育学科 (人間発達学科) 心理福祉学科 健康栄養学科 グローバル・スタ ディーズ学科		16 単位	—	—	16 単位	13 単位	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページに記載 URL: <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/swu/wp-content/uploads/2022/10/220801experience.pdf">https://sendai-shirayuri.ac.jp/swu/wp-content/uploads/2022/10/220801experience.pdf</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園のホームページに公表  
<http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/staff1.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2015.7.24- 2025.7.23	法務
非常勤	社会福祉法人役員	2020.1.1- 2024.12.31	医療福祉従事者の視 点からの助言

(備考) 非常勤理事の任期は5年である。  
弁護士については、2020.7.24-2025.7.23の任期で再任されている。

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>科目担当教員へ「授業の目的」「到達目標とディプロマポリシーとの関連」「授業の概要」「授業の受け方・勉強の仕方」「受講に当たってのルール」「授業計画と予習・復習の内容、及び必要な時間」「評価方法(テスト・レポート・課題等へのフィードバック方法を含む)」「参考図書・文献」「履修上の注意」等を明記するよう依頼し、ホームページの公開及び授業での配付を行っている。なお、作成スケジュールは下記の通りである。</p> <p>&lt;作成過程&gt;</p> <p>① 2月中旬、教務課より教員にシラバス作成依頼の案内</p> <p>② 3月下旬、シラバス提出締切</p> <p>&lt;公表&gt;</p> <p>4月初旬公開</p>	
授業計画書の公表方法	本学ホームページ上で公表： <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/syllabus/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/syllabus/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の把握は、進級指導システムを設けている。各学年で定められた修得単位数または GPA に満たない学生に対し、学科長、アドバイザー等による個別面談にて進級指導を行っている。また、GPA 制度を導入しており、ホームページ記載の「履修方法及び単位認定等に関する規程」第 21 条において、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は学期末に行われる、ただし、2 学期以上にまたがる科目については、その科目が完了した時点で行われる。</li> <li>・成績は、各授業の到達目標に基づいて、100 点を満点とした素点で評価される。ただし、欠席過多や課題未提出、試験未受験などのため素点による評価が不能である場合には、素点ではなく F の評価をつけることができる。</li> <li>・素点に基づき、評価の区分、およびグレードポイント (GP) を次のように定める。</li> </ul> <table border="0"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>GP</th> <th>素点</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「S」</td> <td>4</td> <td>90 点以上</td> <td>到達目標に対して極めて優れた達成度である。</td> </tr> <tr> <td>「A」</td> <td>3</td> <td>80 点～ 89 点</td> <td>到達目標に対して優れた達成度である。</td> </tr> <tr> <td>「B」</td> <td>2</td> <td>70 点～ 79 点</td> <td>到達目標に対して十分に満たしている。</td> </tr> <tr> <td>「C」</td> <td>1</td> <td>60 点～ 69 点</td> <td>到達目標に対して、必要最低限の達成度である。</td> </tr> <tr> <td>「D」</td> <td>0</td> <td>60 点未満</td> <td>到達目標を満たしていない。</td> </tr> <tr> <td>「F」</td> <td>0</td> <td>評価不能。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前項で定めた GP に基づき、その平均値を求めたものを GPA とし、その学生の総合的な成績評価として用いている。</li> </ul>		評価	GP	素点	評価基準	「S」	4	90 点以上	到達目標に対して極めて優れた達成度である。	「A」	3	80 点～ 89 点	到達目標に対して優れた達成度である。	「B」	2	70 点～ 79 点	到達目標に対して十分に満たしている。	「C」	1	60 点～ 69 点	到達目標に対して、必要最低限の達成度である。	「D」	0	60 点未満	到達目標を満たしていない。	「F」	0	評価不能。	
評価	GP	素点	評価基準																										
「S」	4	90 点以上	到達目標に対して極めて優れた達成度である。																										
「A」	3	80 点～ 89 点	到達目標に対して優れた達成度である。																										
「B」	2	70 点～ 79 点	到達目標に対して十分に満たしている。																										
「C」	1	60 点～ 69 点	到達目標に対して、必要最低限の達成度である。																										
「D」	0	60 点未満	到達目標を満たしていない。																										
「F」	0	評価不能。																											
<p>3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>																													
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の評価は Grade Point (GP) に変換され、単位数によって重みづけられた平均値である GPA (Grade Point Average) の算出に用いられる。</p> <p>GPA 算出式</p> $GPA = \frac{(GP \times \text{単位数}) \text{ の合計}}{\text{単位数の合計}} \quad (\text{小数点以下第 3 位を四捨五入})$ <p>GPA の種類</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 通算 GPA 入学年度から当該年度・学期までの GPA</li> <li>(2) 年度 GPA 当該年度の GPA</li> <li>(3) 学期 GPA 当該学期の GPA</li> </ol> <p>なお、科目の性質上、GPA の算出にふさわしくない一部の科目については、GPA の算出から除外される。</p> <p>上記算出に基づき、進級指導システムにおいて規定単位以下または GPA2.00 以下の学生は、学年末に個別面談による進級指導が各学科により実施される。</p> <p>また、前年度の GPA に基づき 2 年から 4 年生の成績優秀者へ学業成績優秀者奨励金を給付している。</p>																													
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページ上で公表：  <a href="http://sendai-shirayuri.ac.jp/swu/wp-content/uploads/2022/09/unit_recognition_rule_2022.pdf">sendai-shirayuri.ac.jp/swu/wp-content/uploads/2022/09/unit_recognition_rule_2022.pdf</a></p>																												
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>																													

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定・学位授与の方針として次の5つを定めている。

- ◆DP1<建学の精神の理解>イエス・キリストによる福音と、その福音的価値観に基づく「人間の尊厳」について理解する。現代社会の諸問題をキリスト教の精神に照らして総合的に理解し、その解決に向けて具体的行動を起こすことができる。
- ◆DP2<普遍的知識と教養>人間や社会、自然、環境に関する幅広い教養、自国と異文化への理解、女性が自律的に生きるための素地を身につけている。
- ◆DP3<汎用的知識と技術>社会人・職業人にとって必要な言語力、コミュニケーション・スキル、情報を扱う技術、キャリア形成に資する知識を身につけている。
- ◆DP4<態度・志向性>多様な人々と対話し、協働し、社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動することができる。
- ◆DP5<総合的な学習経験と創造的思考力>獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた課題を掘り下げ、調査、研究して課題を解決することができる。

なお、卒業認定は、卒業判定教授会の議を経て学長が行う。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本学ホームページ上で公表：[https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty\\_policy/](https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	仙台白百合女子大学
設置者名	学校法人白百合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/bs_r05.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/bs_r05.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/financial_r05.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/financial_r05.pdf</a>
財産目録	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/inventory_r05.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/inventory_r05.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/project_r05.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/project_r05.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/audit_r05.pdf">http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/pdf/audit_r05.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/juaa/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/juaa/</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページによる公表） <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/</a>
（概要） 人間学部は、キリストの教えに根ざした人間への愛と敬意を基に、幅広い教養と深い専門的知識、豊かな感性と社会感覚を身につけ、人間の真の幸福・平和・福祉に貢献できる自立した女性を育てることを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/</a>
（概要） ＜建学の精神の理解＞イエス・キリストによる福音と、その福音的価値観に基づく「人間の尊厳」について理解する。現代社会の諸問題をキリスト教の精神に照らして総合的に理解し、その解決に向けて具体的行動を起こすことができる。 ＜普遍的知識と教養＞人間や社会、自然、環境に関する幅広い教養、自国と異文化への理解、女性が自律的に生きるための素地を身につけている。 ＜汎用的知識と技術＞社会人・職業人にとって必要な言語力、コミュニケーション・スキル、情報を扱う技術、キャリア形成に資する知識を身につけている。 ＜態度・志向性＞多様な人々と対話し、協働し、社会に貢献するために自分自身で考え、積極的に行動することができる。 ＜総合的な学習経験と創造的思考力＞獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた課題を掘り下げ、調査、研究して課題を解決することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページによる公表） <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/</a>
（概要） 本学の建学の理念と教育目的を理解し、人間や社会に対して深い興味・関心を持ち、勉学への強い意欲と探究心のある学生、加えて、自己表現力やコミュニケーション能力を高めるために、また、自分の夢や希望を叶えるために、積極的に行動し物事に向かっていくチャレンジングな学生を求めます。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/faculty-menu/msg/faculty_policy/</a> ）
（概要） 本学の建学の理念と教育目的を理解し、人間や社会に対して深い興味・関心を持ち、勉学への強い意欲と探究心のある学生、加えて、自己表現力やコミュニケーション能力を高めるために、また、自分の夢や希望を叶えるために、積極的に行動し物事に向かっていくチャレンジングな学生を求めます。

#### ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：[https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/issue\\_corner/](https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/issue_corner/)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
	—	27人	14人	6人	1人	人	48人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			109人				109人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/issue_corner/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/issue_corner/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間学部	275人	111人	40%	1150人	682人	59%	15人	8人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	275人	111人	40%	1150人	682人	59%	15人	8人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	217人 (100%)	5人 (2.3%)	193人 (88.9%)	19人 (8.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	217人 (100%)	5人 (2.3%)	193人 (88.9%)	19人 (8.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
宮城大学大学院、仙台大学大学院、白百合女子大学大学院、東北福祉大学総合福祉学部通信教育部 エス・アイ・ロジ株式会社、センコン物流株式会社、アイベックスエアラインズ株式会社、株式会社J R 東日本サービスクリエーション、全日本空輸株式会社、株式会社ANAエアサービス福島、日本郵政株式 会社、楽天カードパートナーズ株式会社、羽田空港サービスグループ、ルートイングループ、東京エレクト ロン株式会社、東北発電工業株式会社、TOTO株式会社、極洋食品株式会社、キューピータマゴ株式会 社、アイリスオーヤマ株式会社、株式会社デンロコーポレーション、株式会社日本旅行東北、富士フィル ムB I 山形株式会社、株式会社セント、イオン東北株式会社、株式会社五十嵐商会、東洋ワークセキユ				

リティ株式会社、東洋ワーク株式会社、ハウステンボス株式会社、株式会社東北銀行、株式会社きらやか銀行、日本生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社、加美よつば農業協同組合、古川農業協同組合、みやぎ生活協同組合、太平電業株式会社、株式会社セント、カメイ株式会社、アイビー株式会社、東北アルフレッサ株式会社、株式会社日本アクセス、IMSグループ、横浜栄共済病院、太田綜合病院、大崎市民病院、竹田綜合病院、東北医科薬科大学病院、久盛会、松田会、友愛会、SGグループ、宮城厚生協会、杏林会、仙台YMCA学園、株式会社菓匠三全、サイバーコム株式会社、日清医療食品株式会社、白石陽光園、湖星会、緑樹会、敬愛学園、瑞光会、笑優会、三矢会、緑愛会、加賀谷学園、仙英学園、寿なとり学園、菅原学園、一寿会、ザベリオ学園、木村学園、あゆみ会、東園寺学園、たちばな学園、杜栄学園、仙台ひとまち交流財団、宮城県福祉事業協会、須賀川市社会福祉協議会、岩沼市社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、鶴岡市農業協同組合、岩手県、仙台市、登米市、宮城県亘理郡山元町、宮城県遠田郡美里町、福島県伊達郡川俣町、山形県教育委員会、横浜市教育委員会、埼玉県教育委員会、福島県教育委員会、秋田県教育委員会、仙台市教育委員会

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)

(備考)

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

学生は履修科目登録日までに、学年始めのガイダンスやシラバスを参考にして授業に出席しつつ、履修する授業科目を決める。本学の授業科目の履修は「大学設置基準」（文部科学省）に定められた単位制に基づいて行われる。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間学部	子ども教育（人間 発達）学科	124 単位	有・無	48 単位
	心理福祉学科	124 単位	有 無	48 単位
	健康栄養学科	124 単位	有 無	48 単位
	グローバル・スタ ディーズ学科	124 単位	有 無	48 単位

G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法： <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/bursary.html">https://sendai-shirayuri.ac.jp/info/bursary.html</a> 「学業成績奨励金」
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://sendai-shirayuri.ac.jp/campuslife/map/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間学部 (1年)	子ども教育学科 心理福祉学科 グローバル・ス タディーズ学科	740,000円	240,000円	240,000円	維持費
	健康栄養学科	740,000円	240,000円	250,000円	施設設備費 維持費
人間学部 (2～4年)	子ども教育学科 人間発達学科 心理福祉学科 グローバル・ス タディーズ学科	740,000円	0円	370,000円	施設設備費 維持費
	健康栄養学科	740,000円	0円	390,000円	施設設備費 維持費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 各学科における授業の補いや、様々な勉強会の開催を支援している。4月及び9月にカリキュラムや講義に対する不安要素を減らすべく履修相談を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 大学生活では、将来を見据えて目標を持ち、人生設計すなわちキャリアデザインを形成することが大切である。キャリアリソース課では、2年生の後期から各種ガイダンスを実施しており、学科担当制による専任スタッフやキャリアカウンセラーが、学生の進路や就職・就職活動における疑問や不安などの相談に随時応じている。 仙台白百合女子大学の学生として、また、卒業後の社会人として必要な基礎力や人間力を身に付けられるよう、一人ひとりの夢や希望を大切にしながら、学生のキャリアデザイン構築を支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 心身の健康保持・増進については、有資格の専任職員が保健室を担当し、校医とともに学生の健康に配慮し、毎年学年始めに健康診断を実施している。学生相談室は、臨床心理士等の専任教員と非常勤のカウンセラーが担当している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <a href="https://sendai-shirayuri.ac.jp/">https://sendai-shirayuri.ac.jp/</a>
---

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F104310100969
学校名 (〇〇大学 等)	仙台白百合女子大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人白百合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		103人	95人	108人
内訳	第Ⅰ区分	50人	46人	
	第Ⅱ区分	33人	35人	
	第Ⅲ区分	20人	14人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				108人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	—
(備考) 年間計は、適格認定における学業成績の判定の結果、2回連続で「警告」となった場合の内、2回目の「警告」がGPAが学部における下位4分の1の範囲に属したことにより「停止」となった者。	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	13人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	13人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。